

Title	(2)国際交流に関するアンケート回答
Author(s)	
Citation	物性研究 (1967), 8(2): 171-173
Issue Date	1967-05-20
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/86026">http://hdl.handle.net/2433/86026</a>
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

## (2) 国際交流に関するアンケート回答

先日各方面へ配布致しました

### アンケート

- 1 一般に国際交流について、意見をお持ちでしたら、下にお書き下さい。
- 2 特に次の二点に関する意見をお書き下さい。

A 海外で開かれる物理学関係、国際会議、夏の学校などへの出席について

B 日本で開催される夏の学校について  
に対して、16通の回答をお寄せ頂きました。

その結果を以下にまとめます。

原則としては盛んにすることは、すべてが賛成している。

### 1. 旅費の問題

- 大なり小なり問題にしているが、「ひもつき」でない資金を。  
(広島大, 名大, 金沢大, 立大)
- 民間の寄付を受付する場合でも特殊な個人や団体だけに頼らずに民主的な方法を。  
(東大)
- 学術会議のもつ国際会議に出席できる人数を大巾にふやすか、あるいは共同利用研究所及び各大学へ相当の枠を新設して、機動的に利用出来るように。  
(京大, 大阪市大, 静岡大, 阪大, 名大)
- 人的, 物的交流のための公的機関を設ける。(大阪市大)

### 2. 相手国の問題

- 特定な国に片よる事のないように。共産圏諸国との交流の場合には、国交回復の問題などがあり、長い時間と多くの努力が必要。  
(東大, 大阪市大, 北大, 金沢大)

### 3. 教室員の海外出張

- 個人単位の出張は、自から学問を持ち、それを外国において討論し、外国に理解させるのが主流であるべきだが、現状は就職難を海外出張でうめ

## 資料 2.

合わせるが行われている。 (立大, 京大・大阪市大)

### 4. 若手について

- 日本とアメリカに関しては, 文献, 留学, 国際会議等現状でもある程度行われているが, これは日本の中心となるべき古手によって行われているのが問題であり, 現役, 若手を優先させ研究第一主義を採用することが必要。 (東北大, 東大)

### 5. 国際交流の仕方について

- 現段階では, 物理的なレベルとは関係なく, 研究者の交流は広ければ広いほど良い。 (東北大)
- 外国依存度が高すぎるのは困る。外国の追従ではなく, 対等的な立場で交流を。 (阪大, 名大)
- 無原則な国際交流は危険な側面を持つので, 学術会議の決めた国際協力に関する五原則にのっとって従う必要がある。(名大)

### 5. 海外よりの受入れ

- 学振の外国人流動研究員では, 問題にならない各大学に, 数人の Fellowship 及び旅費をつけて研究者を招くことが出来るように。(京大)
- 交換教授システムの確立を。 (大阪市大)
- 国内にも外国より研究者が訪れやすい環境を作ること。 (静岡大, 大阪市大)

### 7. 大型加速器

- 大型加速器を持たないため, 外国のデータを必要とするのは当然であるが, 自主的な理論があってはじめて生かせるものであるから, 外国追従に終わらないように。 (立大)
- 理論研究の最大の弱みが加速器の存在しないことにあるとは必ずしも思わない。先進国に学ぶために交流する段階ではなく, 自主的に発展させるために交旅を。 (九大)
- 大型加速器を造り, 高エネルギー集団を生み出すこと。(静岡大)

### A. 国際会議出席について

- 「多数の日本人が日本から参加できるように」というのは殆んどすべてが望んでいる。ただし, 夏の学校に関しては, 海外へ出る旅費がある位なら

- ら、国内へ研究者を外国から呼ぶ方が優先されねばならない。(静岡大)
- 人選手続きは公募制にして公的機関で決定を。(大阪市大, 東北大)
  - その分野の第一線の研究者(若手)が出席出来るように。  
(東大, 京大)
  - アジア財団などからの多数の寄付を受けないで、日本の旅費で出席できる人をふやすように。  
(東大, 北大, 大阪市大)
  - 積極的に各人が申し込めるようにする。(阪大)
  - 大家も含む多人数の代表を送れるように予算を。(金沢大, 大阪市大)

#### B. 日本の夏の学校

- 分野によっては、毎年又は、数年毎ぐらいに、資金は政府や学振などが援助、立案主催は必ず共同利用研又は学会等民主的に討議できるところで。  
(京大, 名大(物性若手), 京大数研, 阪大)
- Publicなものとして、より良くしていく必要がある。(大阪市大)
- 公的機関が行うようにもってゆき、若手中心のS.I.であれば、偉い人達の参加は最少限にとどめ、若手を優先させる。(東北大)
- 日本の研究者を背景に生徒が多数出席できるように。(九大)
- 夏の学校は日本に自主的な学問を作るという姿勢を欠いているので不賛成。この夏の学校を物理学会、基研、核研などで認めて資金の援助をすることは好ましくない既成事実を合法化することで賛成しがたい。(立大)
- 東京夏の学校でとられたような特急の個人の考えのみに支配されるやり方は望ましくない。  
(名大)
- 公的民主的な機関又は、組織を通じて行うべきである。(金沢大)
- 自由に自主的にこの種の夏の学校が盛んになって、その出席は各自の自由にまかせる期間があってよい。  
(静岡大)
- テーマをある程度しぼる方が適当。(京大数研)